

しもがわらふきやあと 下河原吹屋跡



下河原吹屋跡は、石見銀山最盛期である 17 世紀前半頃に操業されていた、大規模な吹屋跡です。発掘調査によって、鉱石を砕くためのかなめ石や、火を受けて赤くなった土間、銀を取り出す過程で捨てられた不純物などが見つかりました。そのため、ここでは良質な鉱石を選び出す選鉱から、鉱石から銀を取り出す製錬が行われていたと考えられます。



発掘調査でみつかった吹屋の礎石

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用を進めています。